

横浜市会第4回定例会が11月30日から12月21日まで開催。党市議団は市長の市民要望に沿った公約実現の

立場に立ち42議案に賛成、市民要望に沿わない5議案は改善を求めつつ反対。請願では「市教育予算の充実」を求める請願は全会一致で採択、共産党が紹介議員となった、少人数学級の拡大、保育子育て施策の拡充を求め各請願は、自民・公明等の反対で不採択になりました。

カジノ誘致・新劇場計画にピリオド、新型コロナ対策で前進

前市長が設置したIRカジノ事業を選定等委員会と新劇場整備検討委員会の廃止等が全会一致で採決。新型コロナ対策では、コロナ専門病院の開設、ワクチン接種予約体制の改善、年末年始の発熱患者受診体制の確立、ゲノム解析機関の設置で前進。

コロナ対策、中学校給食、花博申し入れ

コロナ対策では、検査、医療・宿泊、保健所の各体制の拡充と円滑なワクチン接種予約の実施を求め、中学校給食では全員喫食への移行に関するアンケートはその実施方法について問うよう提案、花博では規模のコンパクト化と新交通システム中止を迫りました。

大型開発見直しを

私は議案関連質問に立ち、関内駅前旧市庁舎街区での高さ制限大幅緩和による超高層ビル林立建設計画は、コロナ禍前の計画であり、ゼロベースからの見直しと、土地の貸付価格の再鑑定を要求。一般質問では古谷議員（鶴見区）が市政運営の基本姿勢、全員喫食の中学校給食、気候変動、子ども世帯特別給付等を取り上げ、三つのゼロ実現の財源確保策として、大型開発事業見直しを求め、市長直轄の事業の洗い出しチーム設置を提案。

歯止めなき自民党・公明党の市長公約批判

自民党は「かつのゼロは財政的見通しのないまま12月になっ



ても示されていない、財政ビジョンを早く作れ」カジノ断念による税収減の責任をどうとるか」市長の議会答弁は原稿読みだけ、真剣さが無い。なぜ立候補したのか」など市長と全面対決。中学校給食問題では、公明党が現行の制度を絶対視で質問。

公約実現を求める運動を

来期の予算議会には、山中市長の初めての予算案が提案され、審議されます。党市議団は市民生活が前進する予算となるよう市長に働きかけます。前に進むうとする市長にストップをかける自公を世論と公約実現の要求運動で包囲する取り組みがいよいよ重要となっています。ご支援をお願いします。

憲法を守り、生かす政治を

夏の参議院選挙がんばります

明けましておめでとうございます。昨年の総選挙でのご支援、ご協力に心から感謝いたします。野党共闘では一定の前進はたの君枝さんの宝の議席を失ったことは残念でなりません、市民と野党の共闘は、自公政権を追いつめる大きな力を発揮しました。南関東3県では33小選挙区での自公と野党共闘の力関係を、前回の26対7から22対11まで押し上げる成果をおさめました。

日本共産党の政策は、総選挙の教訓に学び、自力をつよめ、夏の参議院選挙で市民と野党の共闘の発展と日本共産党の躍進をかちとり、国民の命と暮らしを守るために、がんばります。

- ☆非正規雇用をなくし最低賃金・時給1500円に引き上げる。
- ☆社会保障の切り捨てをストップし拡充する。
- ☆富裕層・大企業に応分の税負担を求める。
- ☆消費税を5%に引き下げる。

党創立100周年を自公政治に代わる新しい政治Ⅱ政権交代への大きなうねりのなかで迎える決意です。

日本共産党委員長 衆議院議員 志位 和夫
副委員長 参議院議員 田村 智子
参議院神奈川選挙区 予定候補 あさか 由香

比例は日本共産党

参議院比例予定候補

田村 智子



国政を動かす情熱 政策を発信 桜を見る会の追及が、世論を喚起し、大きな話題になりました。政策委員長としてコロナ対策ジェンダー平等等、祈祷危機打開など政策立案の役割を担います。現場に生きる論戦がやりがいです。

あさか 由香



参議院神奈川選挙区予定候補

8時間働けば 100万円暮らせる 社会へ

私を変えたいと思っ たのは、企業の利潤が第一におかれ、仕事 が頂点にあり、そのためなら、家庭や、子ども、 人間らしい生き方を犠牲にすることを強いる この社会です。